

台風19号 各地での支援活動のご報告と募金のお願い

グリーンコープ共同体

15都県に及ぶ広範囲に甚大な被害をもたらした台風19号は、グリーンコープの産直生産者やお取引先工場にも甚大な被害をもたらしました。

10月14日～1月18日までに集まった支援募金は約4,850万円と、たくさんのご協力をいただいています。本当にありがとうございます。またお取引先の皆さまからも100万円を超える支援金をいただいています。皆さまから寄せられた支援募金は被害を受けた生産者やお取引先、そして被災された皆さんへの支援に活用させていただきます。

被害は甚大で、継続した支援が必要です。引き続き、災害支援募金へのご協力をお願いします。

長野県で台風19号被害を受けられたお取引先産地（ハケタ会・信濃五岳会・ながの農協飯綱・ながの農協野菜部信濃町支部）の生産者の皆様が、この間のお礼に来られました。グリーンコープより義援金目録をお届けできていなかった3産地へ義援金目録をお届けしました。

＜信濃五岳会 寺島会長＞



左：信濃五岳会 寺島会長
右：グリーンコープ共同体 熊野代表理事

～寺島会長より～

台風19号でとても大変でした。園地の一部が災害に遭いました。皆様のご支援のおかげで、少しずつ元に戻っていています。支援のご恩を忘れずにこれからも頑張ります。本当にありがとうございます。

＜ながの農協野菜部信濃町支部 関塚部会長＞



左：ながの農協野菜部信濃町支部 関塚部会長
右：グリーンコープさが 柳川理事長

～関塚部会長より～

19号で被害がありました。風による被害が大きく、県境の北の方はハウスが飛ばされたりしました。心温まるご支援ありがとうございます。

＜ながの農協飯綱 増田会長＞



左：ながの農協飯綱 増田会長
右：グリーンコープふくおか 砥上地域理事長

～増田会長より～

ハケタ会に比べると被害は少ないですが、皆さまの心温かいご支援も頂き、また立ち上がっていきます。春の花が咲くのが楽しみです。お引き立て、励ましありがとうございます。

後方 ハケタ会、信濃五岳会、
ながの農協野菜部信濃町支部
ながの農協飯綱の皆さん

前方 グリーンコープ共同体理事長会の皆さん



＜ハケタ会 北澤会長＞



～北澤会長より～

10名の家や畑・倉庫などすべてに浸水しました。全て片付いたとは言える状況ではありませんが、皆様のご支援・ご尽力のおかげで復旧しています。改めて感謝しています。ありがとうございます。

台風19号災害支援募金

専用申込書に印字しています。数量（口数）を記入ください。

【例】一口200円を数量欄に「2」と申し込まれた場合400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

申込
番号

010

一口200円

011

一口500円

＜グリーンコープ生協とっとりからは、メッセージカードの贈呈がありました。＞

左：ハケタ会 佐々木さん

右：グリーンコープとっとり小椋理事長

贈呈されたメッセージカード



～グリーンコープ生協とっとり小椋理事長より～

なかなかお会いする機会がないので、単協でメッセージを作りました。皆さんと交流した時の写真も入っています。

QRコードをスマートフォンのバーコードリーダー等のアプリを使って読み込んでください。グリーンコープ災害支援の内容はInstagram「災害支援 by グリーンコープ」にて日々配信しております。



生産者の方たちは口を揃えて「今年は異常気象です。本来であればこの時期、雪が1mほど積もっているはずですが、一切積もっていません。例年のこの時期は、雪が積もっているため長靴を履いて作業しますが、今はスニーカーで作業ができるほど、雪がありません。春がどうなるのか見当はつきませんが、試行錯誤しながら、皆さんに安心して安全な作物をお届けできるようにがんばります。」と今後もりんご栽培にがんばることを伝えられました。

～引き続き支援を行っていきます～

東日本大震災の被災地でも台風19号、台風21号の被害が発生しています。早期復興が東日本大震災の被災地を応援することに繋がります。

＜岩手県宮古市重茂漁協＞

重茂漁協は、東日本大震災後に出会った取引先でワカメの生産量日本一の岩手県でワカメ生産の中心的な漁協です。グリーンコープでは肉厚ワカメ、きざみ昆布を企画しています。震災から9年が経過し震災前に近いところまで回復され、やっと順調に進んでいる中で、今回の台風19号とその後の記録的な大雨で水産施設（さけ・ます、あわび、昆布種苗生産）、養殖施設、漁船13隻、漁具で約5.8億円の被害を受けられました。

1月8日に伊達商品検討委員長が訪問し、グリーンコープの組合員カンパ金から義援金をお届けしました。

山崎組合長からは、遠くから義援金を届けに来て頂いたことに感謝とお礼の言葉をいただきました。重茂漁協は組合員が一致団結し、前を向いて復興に向かわれていました。



重茂漁協のみなさんと伊達商品検討委員長

＜岩手県山田町田の浜＞

田の浜地区が津波対策の防潮堤で山からの雨水で民家が水没し、被災した世帯の中で29世帯が東日本大震災時に建設されたプレハブ仮設に入居されています。

この間、グリーンコープから物資をお届けし、その後も共生地域創造財団スタッフが訪問し状況把握し、必要な支援を続けています。1月8日にはグリーンコープファイバーリサイクルセンターから届けた防寒衣類、帽子、靴下等を中心に展示配布会を仮設住宅の談話室で行い、多くの方が必要な物資を確保されていました。また、配布会後にはお茶会を行い、お互いの近況報告をされていました。

グリーンコープと現地の共生地域創造財団大槌スタッフで連携し、被災者に寄り添った支援を行っています。

